

薩木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

風麟坊のひとりごと

3～4年前、栄区の生涯学習講座の仲間とインターネットを利用して「連句」遊びをしたことがある。連句は、五七五の長句と七七の短句を交互に詠む遊びで、平安時代の連歌を起源とし、室町・江戸時代の俳諧を受け継いでいる。なお、俳句は、俳諧の長句が独立したものとされている。連句は、前の人の詠んだ句に対して、それを受けて句で返す言葉の遊びであり、いろいろな取り決めがあるがここでは割愛する。私が参加していたインターネット連句では俳号でやり取りしていて、私の俳号は「風麟坊」とした。あちらの趣味こちらの趣味とふらふらしている風来坊と林の“リン”、それと坊主頭の三つを掛け合わせた欲張りな俳号だ。この連句遊びは、はじめの頃は投句も盛んで活動も活況であったが、遊びの精神を忘れて「投句する義務感」に苛まれ、いつの間にか活動は自然休止に陥っている。何事においてもそうだが、夫々が楽しんで活動しないとグループ活動は長続きしないと実感した。

還暦を迎え、会社関係ばかりでなく地域の人たちとの交流を深め、何らかの地域貢献もしたいと思い、近くの本郷地区センターに出向いて栄区のボランティア団体を調べた。圧倒的に多いのが高齢者や障害者の支援団体だった。私の性格ではその方面のボランティアは長続きしないとと思った。ボランティア活動は、義務感だけでは続かない。自らも活動を楽しめることが大切だと思っているからだ。それで、数ある活動団体の中からZFCに興味を持ち、ウォーキングの途中炭小屋に立ち寄った。その時は生憎友の会の定例会と重なっていたらしく、炭小屋に居たのは「綿貫さん」と「佐藤(栄)さん」のお二人だけで、お二人からZFCの活動概要をお聞きし、これなら私も楽しんで活動できそうと思った。

ZFCに参加して、みなさんの里山ボランティアへの関わり(想い)は、子供の頃の過ごし方が大きく影響しているように思う。私は、濃尾平野の真ん中名古屋城近くの下町に生まれ、周りには山なんてものもなく、鎮守の森やお寺の境内が森らしきものだった。だから、遊びといえば魚獲り、独楽廻し、凧揚げなどであり、実家も小売酒屋を営んでいたので鎌や鍬を使う機会もほとんどなかった。しかも、子供の頃から不器用というか機械オンチだった。買ってもらったばかりの玩具を分解することはできても、元には戻せなかったし、極め付きはコンセントに針金を突っ込んで家中の電気を停電させてしまったことだ。小学校で電磁石の実験をして帰宅後、針金に電気を通せば磁石ができると思ったらしい。コンセントの二つの穴に針金を突っ込んだところ、「バシン」と大きな音と共に目の前が真っ白になったことだけ覚えていて。親父から「今後一切、機械ものには触れるな。」ときつく怒られ、この事件以後一層の機械オンチになり、今でもチェーンソーや電動カンナなどに触れる時はおっかなびつくりの気持ちだ。親父が子どもを危険に曝したくない気持ちも分からない訳ではないが、もう少し大らかに構えてくれたら機械オンチの幾許かは改善されていたかもしれないと思う。

道具をうまく扱えない不器用な私でも、ZFCでの活動の場はある。それは草刈りであったり、竹伐り、樹皮剥ぎなど手を動かす里山仕事が沢山あるからだ。だが甘えてばかりでは進歩がないので、少しずつでも道具の扱い方を覚えていこうと思っている。何度聞いても直ぐに忘れてしまい、聞き直しても心安く丁寧に教えてくれる素晴らしい仲間がいる限り、ZFCでの活動を続けたいと願っている。継続こそ力なりだ。

林 勝洋

1. 10～11月の活動報告

- ① 10月24日(土)曇 23名 炭焼き(本窯・ドラム缶窯)、トウネズ徐伐、テーブル製作、道具整備
- ② 10月25日(土)曇 10名 炭焼き、収穫祭参加
- ③ 11月7日(土)晴 19名 製材、トウネズ徐伐、炭出し、炭材作成
- ④ 11月12日(木)曇 横浜栄高校・三世代交流会に参加(佐野・佐藤・綿貫・村松・関根)
- ⑤ 11月14日(土)嵐 5名 荒天のため作業せず
- ⑥ 11月21日(土)晴 20名 池の上間伐(14本)、林整備、運営会
- ⑦ 各水曜日に準活動日として木工作业を実施



シノダケを籠(ひご)にする道具。ラッパ状の口から竹を入れて押し引くとアララびっくり!



佐野講師によるワラについての講義。注連縄を作らせているだけではありません。



クリタケ。見掛けはとっても美味しそうです。さて、お味は?



ミズスマシの池脇、トウネズモチの徐伐で陽がたっぷり入るようになりました。

2. 11月度運営会報告 —11月21日開催—

- ① 12月の作業打ち合わせ …3項の通り
- ② 昼食の味噌汁等の当番を決めました。何時も張間さん・大越さんに頼りきってました。3項の各予定日のお名前の方が当番です。

3. 12月度活動予定

- ① 11月28日(土) 製材、炭材詰め、炭小屋整備、クヌギ林植生調査。 山田・江崎・佐藤
- ② 12月5日(土) 9号緑地間伐、材の搬出。炭小屋9時、現地10時集合
- ③ 12月12日(土) 竹林整備、トウネズ徐伐、炭材詰め。 片岡・関根・玉木
- ④ 12月19日(土) 炭焼き(本窯・ドラム缶窯)、製材、材の皮むき、運営会、勉強会、注連縄作り、忘年会。 工藤・宮田・斉藤
- ⑤ 12月20日(日) 炭焼き、森を守るボランティア体験支援。 鈴木・村松・林
- ⑥ 12月23日(水) 望年会(餅つき、トン汁担当)
- ⑦ 12月26日(土) 最終日。製材、炭小屋整備、クヌギ林植生調査。 佐野・加藤・長嶋
- ⑧ 毎水曜日:準活動日

4. その他

- ① 新しい会員が増えました。嬉しいです。森のボランティア体験が役立っています。
10月:山本慎之さん(金沢区在住)
長嶋里美さん(中区在住)
11月:加藤琢也さん(栄区在住)
詳しいことはご本人とコミュニケーションをとっていただき、お互いに知り合いWin／Winの関係を築きましょう。よろしくお願いします。
- ② 2010年は、1月9日(土)七草粥から始まります(鬼さん笑わないでね)。
- ③ 雑木林ファンクラブ通信インターネット版はここ。 <http://zfc.yamagomori.com/index.html>

5. 編集後記

- ① 今回の巻頭コラムは、林さん。知らない一面を見せていただきました。「遊びの精神を忘れて「投句する義務感」に苛まれ、・・・」、ありがちで、よく自戒します。何事も中庸・ほどほどに取り組むことって大切だと思います。過ぎたるは及ばざるが如し！でも、やるときは真剣に。
- ② 11月21日に鬼塚さんの「炭焼き勉強会」を予定していましたが、本郷ふじやま公園での竹炭焼き調査が長引いてしまい戻って来れず、止む無く延期しました。立派な資料が出来ました。12月の勉強会を楽しみにしてください。
- ③ 横浜栄高校の三世代交流会(旧上郷高校せせらぎ交流会)に参加してきました。1年生の総合学習の時間に、様々な経験をシニアの方から学ぼうという授業です。注連縄のほかに、ゲートボール・凧揚げ・お手玉・折り紙・大正琴など様々な授業がありました。三世代交流会の名前の通り、生徒のほかにPTAの方も参加されていて、初めて体験を生徒よりも喜んでいました。現代は、学校で教えないこと意外は中々伝承されない世の中になってしまいましたので、ZFCのような様々な経験や知識・造詣をお持ちの方の中で過ごし教わることは凄く貴重なことだと思つづく感じました。
- ④ 12月19日(土)は森の家にて忘年会です。お早目の参加・不参加をお知らせください。食事のみの参加も可能ですので、まだの方はお気軽にどうぞ。関根までご連絡下さい(090-9230-0000 かメールで)。

以上